



いどに挑むと逃げる

挑むと逃げる、この両方の漢字に使われている『兆』という文字には兆（ちょう）という数の単位をあらわすほかに「きざし、前触れ」という意味があります。テストの結果が悪かった、クラブの試合で勝てなかった、記録が出せなかったなど、思うようにいかない兆しを感じ、壁にぶつかるときがあると思います。そんな時に“挑む”のか“逃げる”のか、どちらに反応するかによってその先の結果が大きく変わってきます。逃げるのは簡単です。そして楽です。悩むこともありません。しかし、自分の思い描く結果はなかなか出ません。自分を成長もさせてくれません。**挑むためには強い心が必要です。**



その強い心は日々の行動の積み重ねしかありません。今週の全校集会で話したことを覚えていますか？以下のような話をしました。

先週、3年生は進路懇談が行われました。どうだったでしょうか？1年生の時からコツコツと頑張ってきた成果が自分の目標や希望とリンクした人もあれば、もっと早くから頑張っておけばよかったと後悔した人もいるのではないのでしょうか。一昔前ならば3年生から頑張ればなんとかなる。そんなときもありましたがここ数年は進路に関しては1年生、2年生の成績も自分の持ち点となって進路選択に大きく関係してくるようになりました。そういう後悔をしないためにこの2学期の初めからずっと言い続けてきたのが「授業を大切に」ということです。そのために君たちの周りには先生方はいろんな注意やアドバイスをしてくれているのです。君たちが自分の進むべき道を広げられるように選択肢をたくさん持てるように、何より進みたい道に進んでいけるようになってほしいからです。しっかり気持ちを切り替えて今日からまた頑張ってください。

これは決して授業のことだけを言っているわけではありません。自分にとってつらいことや苦手なことから逃げてほしくないのです。50分の授業を落ち着いて受けられない。先生の指導を素直に聞けない。しんどい練習はしたくない。受験勉強したくない。人を傷つけるようなことを言ってしまう。**みんなそれは本当はだめなことだとわかっています。**しかし、わかっているのに我慢できないその**“弱い心”に挑んでほしい**のです。君たちならきっとできるはずですよ。3年生もまだまだ勝負できます。頑張っていきましょう！